



一緒に盛り上げましょう 美ら島のSDGs!

エスディーゼーズ(SDGs)を少しずつ楽しく学ぶこの連載。

今回は、**日本旅行業協会SDGs大賞受賞**のご報告です。



「会社は社会の公器であり、事業を通じて社会に貢献するもの。」松下幸之助さんの言葉です。企業が利益を生むのは当然ですが、それは社会に必要とされる価値を提供した結果です。企業が事業を通じて社会に貢献するのは、本来の姿です。

旅行業は、社会貢献を実現しやすい事業です。旅行には地域の文化や歴史、人との出会い、新しい価値観との触れ合いを提供し、人生に前向きな変化をもたらす力があります。旅先での体験が、その後の生き方や考え方を考えることは決して珍しくありません。

それをかたちにしたのが、OTSが日本ユネスコ協会連盟と取り組んでいる**「沖縄体験旅行」**です。この取り組みでは、相対的貧困やさまざまな困難を抱える全国の子どもたち50名以上を沖縄へお招きし、2泊3日の体験プログラムを

実施しています。平和学習や自然体験、地域で活動する方々との交流を通じて、自分の可能性や未来に希望を持つきっかけを届ける。それが、この旅行です。

沖縄は、子どもの貧困という社会課題を抱えています。その一方で、多くの市民活動や企業、行政が力を合わせ、課題解決に取り組んできた地域でもあります。プログラムを支えてくださるのは、沖縄でこの地域課題に向き合う多くの皆さまです。子どもの居場所づくりに取り組む団体、平和教育の実践者、環境保全活動を続ける市民団体、高校生ガイド、など。地域と共につくる旅行だからこそ、人の心を動かす体験になるのだと思います。

このたびこの取り組みが、日本旅行業協会の第4回SDGsアワードで大賞を受賞しました。過去3回は東京の旅行会社の受賞で、地方の会社が大賞を受賞する



のは今回のOTSが初めてのことです。大変光栄なことですが、私たちは「旅行には社会課題の解決に貢献できる力がある」という点が評価されたことを、何よりうれしく感じています。

企業は社会の公器です。旅行会社には「旅」という事業そのものを通じて社会へ貢献できる強みがあります。これからも、その力を信じ、一人でも多くの人の未来につながる旅行を創り続けていきます。

平和学習



エイサー体験



ビーチBBQ



環境学習



首里城見学